

2023年11月20日

2022年度ボトル to ボトル比率は29%へ。飲料業界で採用が進む

## 「PETボトルリサイクル年次報告書2023」 発行

回収率・リサイクル率も向上

全国清涼飲料連合会など清涼飲料メーカー6団体とともに構成されるPET ボトルリサイクル推進協議会（東京都中央区、会長：佐藤澄人 以下、推進協議会）は2022年度のPET ボトルのリサイクル実績を中心にまとめた「PETボトルリサイクル年次報告書2023」を発刊しました。2001年以来、毎年作成しており、PET ボトルの3Rへの取り組みなどを広く啓発していくことを目指しています。



### 【2022年度トピックス】

- リサイクル率86.9%、回収率は94.4%。リサイクルに熱回収も含めた有効利用率は98.8%
- ボトル to ボトルの比率は、29.0%と前年度の20.3%から顕著な増加
- 軽量化率は27.6%、2022年度も目標「指定ボトル全体で25%以上の軽量化（2004年度比）」を達成

2022年度は、自主行動計画2025（第4次自主行動計画）の2年目。リデュース（軽量化率）では指定PETボトル全体の軽量化率は自主行動計画2025の25%以上の軽量化目標に対して27.6%（2004年度比）と軽量化目標を達成。また、主要な容器サイズ・用途17種については個別目標を設定しており、4~41%の軽量化が進み、そのうち5種で目標を達成しています。

一方で、リサイクル率は、86.9%と目標85%以上の維持を達成しました。また、リサイクルに熱回収も含めた有効利用率は98.8%と推定されました。

さらに、飲料業界で採用が進む使用済み PET ボトルから再び PET ボトルに戻すボトル to ボトルの比率は、29.0%と前年度の 20.3%から顕著な増加となりました。

私たちの生活になくってはならない容器として浸透している PET ボトル。その PET ボトルのリサイクルの必要性や循環型社会の大切さ、リサイクルの流れなどを知っていただくための啓発活動などにも積極的に取り組んでいます。

PET ボトルの自主行動計画は PDCA（Plan・Do・Check・Action）を繰り返すプロセスです。我々の取り組みについてご理解いただくとともに、PET ボトルの 3R 推進を通じ、より良い社会の実現に貢献すべく真摯に取り組んでまいります。

詳しくは「PET ボトルリサイクル年次報告書 2023」でご確認をお願いいたします。

HP：<https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2023/>

〈本件に関するお問合せ先〉

PET ボトルリサイクル推進協議会 事務局

TEL 03-3662-7591 FAX 03-5623-2885